



誠実・正大・公益

NO.
37

2015 JANUARY

協会ニュース

きれいな水を未来へ



江津湖

NO.
37
2015 JANUARY

協会ニュース

きれいな水を未来へ

C O T E N T S

| | |
|------------------------------------|-----|
| ごあいさつ | 1 |
| 平成26年度 循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰 | 2 |
| 平成26年度環境整備功労者知事表彰(浄化槽関係)の受賞者決定について | |
| 第28回 全国浄化槽大会 | |
| 平成26年度 地域(保健所)別連絡会議報告 | 3 |
| 市町村・保健所訪問 | |
| 浄化槽フォーラム・熊本 | 4 |
| 環境学習の実施について | |
| 支部活動報告 | 5 |
| 熊本工業高校インターンシップ受け入れについて | |
| 県政番組『はっ県!くまモンラボ』の収録・放送について | 6 |
| 平成26年度 職員研修について | 7 |
| 交通安全・消防研修等の実施について | |
| 平成27年度 浄化槽推進関係予算(案)の概要について(環境省) | 8-9 |
| 平成26年度 浄化槽法指定検査機関四国地区協議会検査員研修会 | 10 |
| 第28回 全国浄化槽技術研究集会 | |
| 各種イベントに参加 | 11 |
| 平成26年度 九州地区浄化槽検査員研修会 | 12 |
| 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換助成事業について | |
| ISO定期審査報告 | |
| おくやみ | 13 |
| 退会 | |
| 編集後記 | |
| お知らせ(平成26年度 浄化槽技術講習会の開催について) | 14 |

熊本県知事指定検査機関

公益社団法人 熊本県浄化槽協会





ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、当協会運営に格段のご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

おかげをもちまして、協会の事業も滞りなく推進することができております。中でも法定検査の受検率向上につきましては、市町村・保健所、業界関係者のご協力のもと推進することができ、改めてお礼を申し上げます。

平成26年度の法定検査の実施状況につきましては、12月末で、浄化槽法第7条検査を約2,000基、11条検査を約62,000基実施し、さらに本年度の目標に向け取り組んでいるところであります。

今後の浄化槽について考えてみますと、安倍内閣は、これからの超高齢化、人口減少社会において、地方創生を最重要課題と位置づけ、それぞれの地域で住みよい環境を確保し活力ある地域の創生を推進する政策を打ち出しております。また、昨年1月には、国土交通省、農林水産省、環境省の3省合同で都道府県宛に「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想の見直しの推進について」が通知され、都道府県構想の早急な見直しを求めており、今後10年程度を目途に汚水処理の概成を目指すこととされています。

熊本は、豊富な地下水、大小の河川、有明海・八代海等の自然の恵みを与えてくれる「水」を利用し生活している県です。私たちは、この豊かな水資源を良好に保ち・守りそして末永く利活用していかねばなりません。

このような状況を見ますと、特に熊本県におきましては、経済性や時間的優位性を持ち、健康で文化的な生活を送りしかも環境保全を図るために不可欠な浄化槽の需要は益々高まるものと思われ、その機能を発揮させるために適正に維持管理を行うための施策も重要となってくるものと思っております。

協会としましては、このような社会情勢も見ながら、指定検査機関としてまた公益社団法人として、県・市町村及び関係団体・会員の皆様のご協力と連携のもと、法定検査を確実に実施するとともに浄化槽の役割等についての普及啓発活動に今後も積極的に取り組んでいかなければならないと思っております。

最後になりましたが、関係機関・団体の皆様方及び会員の皆様方の益々のご発展と実り多い年となりますよう心から祈念申し上げます。

平成27年1月

公益社団法人 熊本県浄化槽協会

会長 島田好久

平成26年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰

平成26年度の環境大臣表彰の授賞式が平成26年10月1日(水)東京會館ローズルームにて執り行われました。本年度の受賞者は次の方々です。

大山 明 氏(人吉支部(有)太陽住宅設備)

松尾 信裕 氏(熊本支部(株)東和)

富岡 庸一郎 氏(菊池支部(有)旭総合メンテナンス)

平成26年度環境整備功労者知事表彰(浄化槽関係)の受賞者決定について

今年度の環境整備功労者知事表彰(浄化槽関係)の受賞者が決定しました。表彰式は平成27年2月5日に熊本県庁にて執り行われる予定です。

大野 浩正 様(天草支部 大野電設)

佐伯 義輝 様(熊本支部(株)九州環境保全)

成瀬 徳晃 様(御船支部(有)成瀬でんき)

宮崎 美代子 様(熊本支部(有)宮崎清掃社)

寄河 忠雄 様(天草支部(有)寄河電気)

渡邊 祐二 様(有明支部(有)前田設備工業)

第28回全国浄化槽大会

平成26年10月1日(浄化槽の日)に、東京都千代田区の東京會館で「第28回全国浄化槽大会」が開催されました。

毎年大会では、浄化槽関係事業の発展向上に顕著な功績のあった功労者を表彰する記念式典や記念講演が行われます。

今年度は以下の内容で実施され、当協会からは島田会長が出席しました。

- (1)日 時 平成26年10月1日(水)14:00~16:45
- (2)主 催 浄化槽の日実行委員会(浄化槽関係団体19団体)
- (3)後 援 環境省、国土交通省
- (4)場 所 東京會館

- (5)内 容
 - 挨拶 環境大臣、国土交通大臣
 - 浄化槽適正整備推進決議
 - 表彰式 環境大臣表彰、国土交通省土地・建設産業局表彰、国土交通省住宅局長表彰、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長表彰
 - 記念講演 講師：宮城大学 理事(研究担当) 食産業学部環境システム学科教授 岩堀恵祐氏
 - 演題：「古今東西糞尿譚 ～今後の浄化槽に期待する!～」

平成26年度地域(保健所)別連絡会議報告

平成26年10月14日(火)から11月21日(金)にかけて各支部(一部合同開催)において地域(保健所)別連絡会議が開催されました。この会議は、浄化槽に関する行政、会員(業界)、協会が一堂に会する年1回の会議として毎年開催され、今年

内容

【熊本県下水環境課からの情報提供等】(熊本支部を除く全支部)

- ①生活排水対策の実施状況について
- ②浄化槽整備に係る県助成制度について
- ③浄化槽の適正な維持管理の取組みについて
- ④都道府県構想の見直しについて

【熊本市浄化対策課からの情報提供等】(熊本支部)
熊本市における浄化槽行政について

で17回目となります。

会議では、行政機関から浄化槽行政の状況や取り組み等について情報提供があり、その後活発な意見交換が行われました。

【行政機関からの協会及び業界への要望・意見等】

【報告事項】

- ①法定検査実施状況報告について
- ②BOD検査の全年検査について
- ③浄化槽の放流水質について
- ④単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換助成事業について
- ⑤平成26年度浄化槽技術講習会について
- ⑥その他

開催状況

| 支部 | 会員出席数 | 開催日 | 開催場所 |
|---------|-------|----------------|-------------|
| 熊本 | 21 | 平成26年11月11日(火) | 熊本ホテルキャッスル |
| 有明 | 8 | 平成26年10月23日(木) | 笹乃家(菊池市) |
| 山鹿 | 8 | | |
| 菊池 | 7 | | |
| 阿蘇 | 2 | | |
| 御船 | 13 | 平成26年11月21日(金) | ホテルエミナス |
| 宇城 | 17 | 平成26年10月14日(火) | ホワイトパレス松橋 |
| 八代 | 12 | 平成26年10月31日(金) | 八代グランドホテル |
| 水保 | 13 | 平成26年11月14日(金) | 湯の尻 海と夕やけ |
| 人吉 | 13 | 平成26年10月24日(金) | 鍋屋本館 |
| 天草 | 22 | 平成26年10月17日(金) | プラザホテルアネックス |
| 計 | 136 | | |
| (参考)H25 | 147 | | |

【検討及び協議事項】(全支部共通)

- 1)新設浄化槽への設置補助廃止に伴う市町村での対応等の方向性について
- 2)市町村設置型への移行の予定等について
- 3)無管理・無清掃浄化槽及び法定検査の未受検者に対する啓発について

保健所・市町村訪問

浄化槽法に関する権限を有する行政機関と連携を深めることと協会の事業について理解を得ることを趣旨に、県内の市町村、保健所を訪問しました。

訪問は、会長(又は副会長)と事務局(同行)が平成26年9月から10月にかけて、市町村、保健所の担当課長に、浄化槽の法定検査の状況や協会の事業を説明するとともに、①浄化槽の設置促進、②法定検査の受検率向上、③市町村設置型の採択、④浄化槽の維持管理の徹底及び維持管理費への助成、⑤協会が実施している単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換助成事業の市町村広報誌への掲載依頼の5項目についてお願いしました。

首長や保健所長が在席されていたところでは、首長・保健

所長にも面談させていただき協会の取り組みについて理解を深めていただくことができました。また、未受検者に対する取り組みについても、協力関係を築くことができました。

市町村からは、財政状況が厳しく市町村設置型や維持管理費の助成は困難であるとの意見がある一方、市町村設置型や維持管理費助成を実施している市町村や今後前向きに検討したいと意向を示す市町村もありました。

浄化槽の果たす役割を多くの県民の方々に周知し、浄化槽の適正な維持管理を促進していくうえで、今後も県をはじめ市町村、保健所のご支援のもとさらに連携を深め取り組んで参ります。

平成26年度浄化槽フォーラム・熊本

平成26年10月3日(金)上天草市松島総合センター「アロマ」ホールにおいて、平成26年度「浄化槽フォーラム・熊本」を熊本県浄化槽普及促進協議会との共催により開催致しました。

冒頭の熊本県浄化槽普及促進協議会会長(上天草市長)からの主催者挨拶に引き続き2つの講演と事例発表が行われました。当日は、市町村長及び県・保健所・市町村の浄化槽担当者、浄化槽関係業界・団体等を併せ約180名の参加がありました。

◆講演◆

【講演1】「最近の浄化槽行政及び都道府県構想策定マニュアルについて」

【講師】環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課 浄化槽推進室係長 錦織善隆氏、他

【講演2】「環境保全意識の啓発について2014」

【講師】全国浄化槽推進市町村協議会 事務局長 吉野邦治氏

◆県内市町村事例発表◆

【演題】苓北町における「市町村設置型浄化槽整備促進事業」の取り組みについて

【講師】苓北町 水道環境課 環境班 参事 櫻井庄司氏



環境学習の実施について

当協会では水の大切さや地域の水環境の保全の重要性及び生活排水処理に果たす浄化槽の役割等について学習していただくことを目的に県内の小中学校を対象とした環境学習を実施いたしております。平成26年度は「次世代のためにがんばる会」との共催で平成26年7月15日に八代市立宮地小学校にて実施致しました。

当日は小・中学生10名が参加し、電子黒板、浄化槽の模型、顕微鏡を使用し、浄化槽の水がきれいになる仕組みや浄化槽

に関するクイズをしながら学習しました。生徒達は、皆熱心に説明を聞き、浄化槽の模型や顕微鏡を使用した微生物の観察には特に興味を持ってくれました。この環境学習を契機に環境保全のために浄化槽の果たす役割を家族や友人等に広めてくれるものと期待できます。

環境学習の実施にあたりましては、宮地小学校の先生方並びに「次世代のためにがんばる会」の皆様方にご協力いただきました。



支部活動報告

平成26年度の支部活動として、当協会の天草支部は平成26年11月8日(土)に上天草市大矢野町道路清掃ボランティア活動を行いました。当日は支部会員・当協会職員等約30名が参加し、大矢野町の宮津海遊公園から上天草市役所大矢野庁舎までの国道266号沿いで道路清掃を行いました。

清掃活動の様子は上天草市役所の広報誌「広報 上天草」と熊本日日新聞に掲載されました。



熊本工業高校 インターンシップ受入について

今年度も熊本工業高校の生徒3名をインターンシップ(就業体験)で受け入れました。

男子生徒3名が12月1日(月)から12月5日(金)までの5日間、浄化槽に関する講義、水質分析課分析員補助、7条検査現場同行(見学)、検査事務課事務員補助等を体験しました。3人共真面目に一生懸命取り組みました。

【実習生徒】 工業化学科 2年 松永 玲哉 君
// 2年 守口 慶紀 君
// 2年 矢田 完成 君



県政番組『はっ県!くまモンラボ』の収録・放送について

平成26年9月11日(木)に県政番組『はっ県!くまモンラボ』～浄化槽について～の撮影が、当協会及び宇城市の浄化槽の設置場所で行われました。

当協会のBOD分析室では、島田会長とくまモンと一緒に出演し、熊本の豊かな水環境を将来にわたり享受していくこと、浄化槽の働きや機能維持のために維持管理である保守点検、清掃及び法定検査が不可欠な作業であることを県民に訴えました。

また、宇城市の設置者宅では、地元の維持管理業者にご協力いただき、保守点検、清掃作業を実演されくまモンも応援し

ました。

設置者へのインタビューでは、「浄化槽の維持管理を地元業者に委託しているの、使った生活排水をきれいな水として地域に還していると安心しています。」と話されていました。

番組は、平成26年9月28日(日)にRKK熊本放送で午後3時54分に放送されました。見過ごされた方は「RKKはっ県!くまモンラボ」のホームページの「過去の放送」でご覧いただくことができますので是非一度ご覧ください。

当日の様子は当協会ホームページにも写真を掲載いたしております。



平成26年度職員研修について

当協会では職員を対象にした研修を実施いたしております。

今年度は当協会職員研修講師の(株)ベストビジネス 代表取締役 岡部穂積先生による個人研修(4月～8月)と全職員を対象にした研修(12月・3月)を実施いたしております。

また、今年度は当協会理事・監事に講師をお願いしご講話いただく研修も実施中です。



平成26年11月までに実施された役員研修の実施状況はこのとおりです。

1月・2月にも研修を実施予定ですが、講師・内容につきましては未定です。

| 研 修 日 | 役 職 | 講 師 名 | 内 容 |
|-------------|-----|-------|-----------------------------------|
| 平成26年7月25日 | 副会長 | 内野静子様 | 男女共同参画(ジェンダーフリー)について |
| 平成26年8月29日 | 副会長 | 森田和博様 | 危機管理について |
| 平成26年9月19日 | 理 事 | 甲斐秀人様 | 人生の分岐点での人との出会い、影響について |
| 平成26年10月24日 | 理 事 | 田中栄一様 | 交通事故の体験談と安全運転中央研修所(茨城県)での研修内容について |
| 平成26年11月28日 | 監 事 | 村本征秀様 | 「私のライオンズクラブ」(活動内容) |

交通安全・消防研修等の実施について

平成26年11月7日(金)に当協会会議室において安全運転講習会を行いました。この講習会は管轄の御船警察署の指導により毎年実施しております。また、平成26年12月25日(木)には全職員が参加し消防訓練と救命救急訓練を初めて実施

しました。所轄の上益城消防署にご協力いただき署員の指導のもと、当協会駐車場において消火器の使用方法についての実地訓練と、会議室で訓練用人形を使用した心肺蘇生法及びAED取扱い訓練を約2時間にわたり実施しました。



平成27年度浄化槽推進関係予算(案)の概要

平成27年1月14日
環境省浄化槽推進室

1. 健全な水循環に資する浄化槽の整備促進

汚水処理施設の効率的・効果的な整備を図るとともに、循環型社会の形成を推進するため、健全な水循環に資する浄化槽整備の一層の促進に必要な予算を計上。

○ 循環型社会形成推進交付金

8,421百万円

市町村の自主性と創意工夫を活かしながら浄化槽の整備を推進するための予算。

浄化槽整備事業の内訳

【単位:百万円】

| | 平成26年度 予 算 額 | 平成27年度 予 算 (案) 額 | 対 前 年 度 比 % |
|---|------------------|---------------------|-----------------|
| 循環型社会形成推進交付金 ※別途、東日本大震災復興交付金 として復興庁に一括計上。 | (9,059) 8,421 | (9,024) 8,421 | (99.6) 100.0 |

注:上段()は、内閣府(沖縄)、国土交通省(北海道、離島)計上分を含めた額

※上記の他、内閣府に地域再生基盤強化交付金(汚水処理施設整備交付金)を計上
総額 430億 68百万円の内数

地域再生計画に基づいて、環境省、農林水産省、国土交通省所管の汚水処理施設を総合的に整備するための予算。

2. 国の支援措置の充実・強化のための助成制度の見直し

改○ 低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業の延長

平成22年度から26年度にかけて実施してきた低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業(市町村設置型、個人設置型)について、日本における温室効果ガスの削減目標達成のための浄化槽分野におけるCO₂削減対策の促進を図るため、制度を延長する。

3. 浄化槽整備等のための支援強化

新○ 浄化槽情報基盤整備支援事業費

50百万円

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換や適正な維持管理の早期確立及び災害対応力の強化に向けては、関係者間での効率的かつ正確な浄化槽情報の管理を可能とする浄化槽台帳システムの整備が必要である。

しかし、自治体における浄化槽台帳システムの普及にあたっては、構築に係る費用及びノウハウの不足が導入促進の妨げとなっている。

このため、浄化槽台帳システムの導入に前向きな自治体に対し、導入に際して地域ごとに異なる諸課題への解決策の支援を行うとともに、当該自治体における導入前後の諸課題及び解決策を整理、集約して、同様の諸課題を抱えている自治体に情報提供することにより、浄化槽台帳システムの整備推進を図る。

○ 浄化槽情報基盤強化推進事業費

16百万円

汚水処理施設の長期間の停止は生活環境の保全及び公衆衛生上避けなければならない事象であるため、地震等の非常事態に備え、平時より浄化槽台帳システムの活用等による強靱な管理体制を構築する必要がある。また、強靱な管理体制の構築にあたっては、効果的・効率的な法定検査体制の構築が求められている。

このため、浄化槽台帳システムの新たな利活用に関する調査検討等を行い、浄化槽台帳システムによる浄化槽の管理基盤の強化を図るとともに、より効果的・効率的な法定検査体制の構築手法の検討を行うことで、浄化槽システム全体での更なる強靱化及び信頼性の向上を目指す。

○ **し尿処理システム国際普及推進事業費** **15百万円**

国連ミレニアム開発目標に掲げられた国際的な衛生問題の解決のため、発展途上国におけるし尿処理に関する現状及び課題の把握や、浄化槽等の我が国のし尿処理システムに関する情報を発信するとともに、し尿処理技術の国際展開の方向性や具体化に関する検討、及び発展途上国の行政担当者向けの人材育成を行うなど、我が国のし尿処理技術の普及に向けた一層の取組を展開する。

4. その他

<東日本大震災復興交付金として復興庁計上>

○ **低炭素社会対応型浄化槽等集中導入事業**

東日本大震災により被害のあった地域における、低炭素社会対応型浄化槽(市町村設置型・個人設置型)及び通常型浄化槽(個人設置型)の迅速な整備について財政支援を行い、被災地の生活排水対策の早期回復を図る(平成27年度までの時限措置)。

浄化槽情報基盤整備支援事業費 **50百万円(一)**

大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課浄化槽推進室

1.事業の必要性・概要

浄化槽法に基づき、浄化槽の設置については、設置者等より都道府県等に対して届出することとなっており、また設置後の水質検査や定期検査の結果については、指定検査機関から都道府県等に報告することとされている。これらの届出や報告を管理するための帳簿が浄化槽台帳である。

環境省では浄化槽台帳システムの定義や導入手順の手引きとして、平成26年3月に「浄化槽台帳システムの整備導入マニュアル(以下「マニュアル」という。)」を作成し、地方自治体(以下「自治体」という。)に提示したところである。

一方、自治体における浄化槽台帳システムの普及にあたっては、構築に係る費用及びノウハウの不足が導入促進の妨げとなっている。このため、本事業においては、環境省が策定した「マニュアル」に基づく浄化槽台帳システムの導入に前向きな自治体に対し、導入に際して地域ごとに異なる諸課題への解決策の支援を行うとともに、当該自治体における導入前後の諸課題及び解決策を整理、集約して、同様の諸課題を抱えている自治体に情報提供することを目的とする。

2.事業計画(業務内容)

- ①浄化槽台帳システム導入に係る地域の諸課題への解決策支援
- ②浄化槽台帳システム導入後のフォローアップ調査
- ③他の自治体への情報提供

3.施策の効果

浄化槽台帳システムの整備推進に向けた支援により、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換や適正な維持管理の確立、管理体制の強化等を図るとともに、浄化槽の信頼性の向上を目指す。

平成26年度浄化槽法指定検査機関四国地区協議会検査員研修会

平成26年9月4日(木)・5日(金)に、平成26年度浄化槽法指定検査機関四国地区協議会検査員研修会が松山市で開催され、当協会からは4名、九州地区指定検査機関から15名、四国4県から68名の合計87名の参加がありました。

1日目は、開催県である(公社)愛媛県浄化槽協会からの挨拶のあと、分科会【管理運営部会】検査管理運営の状況、【浄化槽検査部会A】検査の実務状況、【浄化槽検査部会B】浄化槽台帳の整備・運用状況について、【水質検査部会】講演「水質検査器の適正な使用方法について」の情報交換を行い、全体研修【講演】として(株)ダイキアックスから「性能評価型浄化槽の開発まで及び汚水処理装置の紹介」がありました。

2日目は、全体研修【研究発表】として、四国各県から「南海地震に備える～検査員用非常持出袋について」、「11人槽以上の未受検施設の実態調査及び戸別受検勧奨推進事業についての報告」など5題の研究発表会があり、その後全体研修【分科会報告】として、1日目の分科会の報告がありました。

昨年にも参加しましたが、分科会形式の情報交換会は大変有



意義なものであり、九州地区検査員研修会においても参考にすべき事項が多くありました。

第28回全国浄化槽技術研究集会

「第28回全国浄化槽技術研究集会」が平成26年9月17日(水)・18日(木)にさいたま市にて全国各地より浄化槽関係者が集まり盛大に開催され、当協会からは島田会長、藤本常務理事他4名の職員が参加致しました。

研究集会当日は、式典・特別講演の後、各県の検査機関より「不適正浄化槽の改善指導について」「法定検査業務効率の

改善について」等の研究発表があり、翌日は関係機関からの行政報告の後、「行政担当者研究会」、「浄化槽検査員研究会」が開催され検査情報として「効率化検査の運用と今後の展望について」「現場におけるIT化の取組み」等の報告・情報提供がありとても参考になる研究集会でした。



各種イベントに参加

浄化槽に関する周知啓発活動による協会の認知度の向上を目的に、パンフレットの配布や浄化槽についてのアンケート調査を行政機関と連携しながら実施いたしました。平成26年9月以降の各種イベントへの参加状況は以下のとおりです。

| イベント名 | 開催日 | 開催場所 |
|------------------------|-----------------------|-----------------|
| こうさ環境フェア2014 | 平成26年9月20日(土) | 甲佐町生涯学習センター |
| 総ぐるみくまもと環境フェア2014 | 平成26年10月11日(土)・12日(日) | グランメッセ熊本 |
| こうし市エコまつり(2014こうし市秋祭り) | 平成26年10月25日(土) | 熊本県農業公園カントリーパーク |
| 第37回錦町ふるさと祭り | 平成26年11月1日(土)・2日(日) | 錦町民グラウンド |
| 第6回みなまた産業団地まつり | 平成26年11月8日(土) | 水俣産業団地 |
| 玉東町ふれあいフェスタ | 平成26年11月23日(日) | 玉東町ふれあいの丘 |
| あらお環境フェスタ2014 | 平成26年11月30日(日) | 荒尾市中央公民館 |



こうさ環境フェア2014



玉東町ふれあいフェスタ



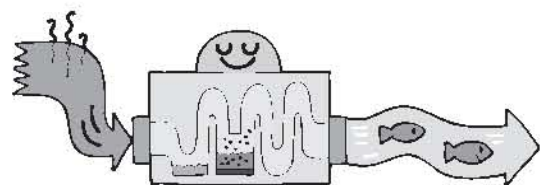
第37回錦町ふるさと祭り



あらお環境フェスタ2014



第6回みなまた産業団地まつり



平成26年度九州地区浄化槽検査員研修会

「平成26年度九州地区浄化槽検査員研修会が、平成26年11月21日(金)に福岡市博多区「八仙閣本店」で開催されました。

当研修会は、浄化槽法指定検査機関四国地区協議会と交流を開始3年目となり、四国4県から10名、九州7指定検査機関から81名、当協会から検査員27名の計118名が参加しました。

主催者挨拶、開催県挨拶の後、(公財)鹿児島県環境検査センターから「ブーグルマップとエクセルを利用したGISについて」など6研究発表と、普及啓発事業として(公財)大分県環境管理協会、11条検査勸奨事業について(一財)福岡県浄化槽協会からの事業報告がありました。

懇親会においても、各県の実情等積極的な情報交換が行われ有意義な研修会でした。

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換助成事業について

— 平成26年度申請受付は終了しました —

当協会では合併処理浄化槽の普及を促進し、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止することを目的に「単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換助成事業」を平成24年度から実施しております。今年度も大変好評で多くの申請があり、予定していた設置基数に達しましたので当年度の申請受付を終了いたしました。ご協力いただきありがとうございました。

平成27年度につきましても同事業を実施予定ですので、

既存単独処理浄化槽からの転換を実施される際には是非ご利用いただけますようお願いいたします。

準備ができましたらホームページ等でお知らせさせていただきます。

※この事業の助成額は1件あたり50,000円で平成26年度は40件の申請を受け付けました。助成金の交付には、当協会会員であることを要件の一つとしております。

ISO定期審査報告

ISO14001の定期審査が平成26年9月24日(水)から25日(木)まで行われました。

【審査結果】

適用規格(ISO14001:2004)の中で改善指摘事項が発見されませんでした。登録されているマネジメントシステムについて、システムが維持されていると判断致します。

【審査所見】

指定検査機関として、公共用水域の水質保全及び公衆衛生の向上を目的に、法定検査事業の推進を図られています。平成26年度から全ての11条検査にBODを毎年実施することとされ、また熊本県浄化槽台帳管理システムについても浄化槽に係る最新の情報を的確に反映すると共に受検勸奨対策に活用されています。このほか、浄化槽の啓蒙、啓発活動に積極的に取り組まれています。一方、社内では、人材教育に力を入れ、検査員の技術の向上や研究発表にも積極的に取り組まれて

います。

島田会長へのマネジメントレビューについては、「九州1、全国1の指定検査機関を目指す」「11条検査90,000基」、7条検査2,700基など、協会のあるべき姿を明確に提示され、リーダーシップを発揮されていることが伺えました。

【ブッドポイント】

事業方針でもある11条検査基数は、ここ数年着実に伸び、昨年度はついに80,000基を突破されました。これは、行政と連携した受検勸奨対策や台帳システムの運用が軌道に乗ったこと、また、浄化槽の普及・啓発活動など、これまで地道に取り組んでこられた成果と思われる。今後においても着実な増加が期待されます。

おくやみ 謹んでお悔やみ申し上げますとともに心よりご冥福をお祈りいたします。

- | | | | |
|------|---------|---------------|------------------|
| 熊本支部 | (株)明誠設備 | 代表取締役 塚本 頼光 様 | (平成26年4月19日ご逝去) |
| 人吉支部 | (株)徳丸 | 代表取締役 藤川 幸六 様 | (平成26年5月16日ご逝去) |
| 天草支部 | 保清衛生(有) | 代表取締役 川野 一人 様 | (平成26年9月1日ご逝去) |
| 熊本支部 | 川崎設備(有) | 取締役会長 川崎 和夫 様 | (平成26年11月19日ご逝去) |



退会

- 平成26年3月31日付 (株)豊島(八代支部)
- 平成26年8月21日付 東部設備工業(株)(熊本支部)
- 平成26年9月5日付 宮崎ポンプ店(阿蘇支部)
- 平成27年1月22日付 佐藤設備(阿蘇支部)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は当協会の事業にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平素は協会ニュースをご愛読いただきましてありがとうございます。
今年も皆様へ役立つ情報をお届けできるよう編集者一同頑張りますのでよろしく願っています。

今年の干支である末(ひつじ)に肖り、皆様にとりまして平和で穏やかなよりよい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

インフルエンザが猛威を振るっております。手洗いうがい等の予防をしっかりと行いお身体には十分気をつけてお過ごしください。

総務常任委員会



お知らせ板

平成26年度 浄化槽技術講習会の開催について

当協会では、浄化槽の製造、施工、保守点検及び清掃実務者の技術力向上を目的とした「平成26年度浄化槽技術講習会」を下記の内容にて開催致します。本年度も全体研修と専門研修に分けて開催致しますので、多数のご参加をお待ちしております。

記

1. 日 時：平成27年2月4日(水)午後1時～午後4時45分(受付：正午～)

2. 場 所：グランメッセ熊本 2階

3. 次 第：◆全体研修◆ (会場：コンベンションホール) 午後1時5分～午後2時50分

【演 題】「最近の浄化槽行政について」

【講 師】環境省 大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課 浄化槽推進室 指導普及係長 藤村 敏行 様

【演 題】「浄化槽設置等に係る建築基準法上の手続きについて」

【講 師】熊本県 土木部 建築住宅局 建築課 参事 中島祥貴 様

【演 題】「浄化槽法上の手続き及び適正な維持管理について」

【講 師】熊本県 土木部 道路都市局 下水環境課 主幹 村上健一 様

休憩・移動 午後2時50分～午後3時5分

◆専門研修◆ 午後3時5分～午後4時45分

●分科会1(製造・施工)(会場：中会議室)

【演 題】「災害後の浄化槽の復旧事例等について」

【浄化槽の耐震工事及び最新の特殊工事の事例について】

【講 師】(一社)浄化槽システム協会 技術委員会 副委員長 和田吉弘 様

●分科会2(維持管理)(会場：大会議室)

【演 題】「コンパクト型浄化槽の水質管理方法及び水質悪化の際の対応方法について」

【講 師】(公財)日本環境整備教育センター 調査・研究グループリーダー 仁木圭三 様

以上